

朝風

第6号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 (有)協和プリント



SENDAI

(平成12年度)

団員数	272名
指導者数	7,047名
指導者数	1,197名

豊かな活動の保障を



本部長 菅原 壽

平成十二年四月から「スポーツで未来をつくろう」をキャッチフレーズに、第七次育成五ヶ年計画がスタートしました。

これは大きく三本の柱で構成されています。一つめは「組織の整備強化」とし、子ども達のスポーツ活動と組織を全国に広げよう！と示し、二つめは「指導者・リーダーの養成及び指導体制の整備強化」とし、私たちの手で素晴らしい子ども達を育てよう！と示し、三つめは「活動の充実」で、豊かで夢のある活動を！示しています。

これらの施策が二十一世紀のスポーツ少年団のあり様を指差したものであり、理念を踏襲し、組織のより一層の充実・発展を図るものです。将来の生涯スポーツの振興の柱として、総合型地域スポーツクラブ化の取り組みの基礎になるものと考えられます。スポーツ少年団の組織力も、少子化等により減少の傾向にあります。しかし果たしてそうでしょうか、子ども達のニーズに込んでいるだろうか？子どものスポーツは遊びであるという認識を何時でももつ

期（年齢）に合ったプログラムの提供が最も望まれるところです。

平成十四年度から、週五日制の導入が実施されます。私達スポーツ少年団の指導者に対する期待が膨らんでくると考えられます。一層の精進をお願いする次第です。それぞれの違った環境の下で、これらの施策がどう生かせるか、それぞれの立場で特に検討を加えられ、より多くの青少年にスポーツ活動の機会と場の提供し豊かな活動を保障したいと考えます。

仙台市スポーツ少年団

平成十二年度入団式

——「燕沢クールヘッズ」・「桂サッカ」——
スポーツ少年団が新規加入——

新しいリーダーのもと、新生スポーツ少年団が活動を開始し、新チームも馴染み、各少年団とも「らしい装い」が醸し出てきた、五月十三日（土）仙台市体育館を会場に仙台市スポーツ少年団平成十二年度入団式が盛大に開催されました。

人來田小学校の吹奏楽団が演奏する行進曲に合わせて、各団のプラカードを先頭に、今年新しく加わっ

ているだろうか、勝ち負けが優先していいか、勝ち負けを優先すれば、落ちこぼれる子どもが多くなるということ、子ども達は年齢と共に成長します。成長に成長します。成長に成長します。

お祝いには仙台市の小松教育長、並びに、仙台市体育協会の山田副会長さんが駆けつけて下さり、新世紀・みやぎ国体を目前に控え、今年は、国際的な競技選手を迎える「リハーサル大会」と位置づけた全国選手権大会が数多く開催されるので大いに参考にしてください。

加えて、健全な心と身体を鍛え、競技技術の向上を図るように、心構えと励ましの言葉でお祝いをしていただきました。

式典終了後は、ドッジボールやビーチバレーなどを行い、専門競技を越えた少年団同士の交流を深め、親睦と融和を図りました。

今回のスポーツ少年団入団式には、もっと多くの少年団が参加することを期待したいと思います。

この写真は、昨年の入団式における行進の様子を撮ったものです。



白老を訪ねて

みなさんおはようございます。今日はたくさんさんの見送りありがとうございます。これから、ぼく達総勢一〇八名のスポーツ少年団は北海道白老町へ交流遠征して来ます。仙台の代表としてマナーを守り、元氣一杯試合をして来ます。そして白老の思い出とたくさんさんの友達を作って帰って来ます。それでは「いってきます」平成十二年七月二十八日、遠征団代表大和クラブ主将、田辺琢也。元氣な第一声で新野団長を先導に一路北海道白老町へ向けて出発。

第一陣は九時三十五分発、第二陣は九時四十五分発と少し時間的差はありましたが、北海道千歳空港で再度合流、白老町スポーツ少年団の出迎えを受けた後、バスにて白老町歓迎典會場のコミュニケーションセンターへ、千歳空港から白老町迄は約一時間かかりますが、広大な北海道の畑を見ながら途中樽前山（タスマイザン）休火山で一、〇四メートル、まもなく一、三三〇メートルのホロホロ山が見えて来ます。それから白樺並木が雑木林の中に何ヶ所も見えかくれします。ポロトとんねる、白老とんねると続けてぬけると、もう白老の町へ入っています。

安政三年（一八五六年）仙台藩が徳川幕府より北辺防備を命ぜられ白老に元陣屋を築き、この陣屋跡が昭和四十一年に国の史跡指定を受けました。その後復元および記録誌編集等で仙台と親善交流が始まり、昭和五十六年五月八日に歴史姉妹都市提携調印が行われたそうです。スポーツ少年団としては今

年度十四回目の交流会ですが、そんな古くから仙台とつながりのあった白老かと思えると親しみさえ感じて来るから不思議なものです。

歓迎式では相方の代表者挨拶、来賓挨拶、参加役員の紹介、参加少年団の紹介、記念品授与を終え、バスで十分位の所にある仙台藩白老元陣屋資料館を三十分程見学した後、資料館からバスで十分程のアイヌ民族博物館も見学させて頂きました。コミュニケーションセンターへ戻りホームステイ先との対面式、各団員はその足でホームステイ先の方と一緒に遊び、役員、指導者、父兄はバスでホテルへ、荷物を片付け、再度バスで懇親会場へ移動、楽しいひとときを過ごしました。あわただしい一日を終え、夜ホテルの湯舟で体を暖め、汗を流し床につきました。

二日目、七時前には朝食をすませ、迎えるバスにて私達大人は町営野球場へ集合、団員も各ホームステイ先の車で集合しスポーツ交流の開会式を行いました。開会式終了後は、野球をするチームは町営野球場とふれあい広場の二会場で、バスケットをするチームは白老総合体育館へ移動し交流試合を行いました。夜は野球、バスケットと分かれ交流懇親会をそれぞれ準備して下さって



ました。北海道ならではののちそうをたくさん頂きました。夜は二次会、三次会と盛り上がったようです。

三日目は別れを惜しむかのように雨が降り、その中の飲送式となりました。バスに乗ってから、涙しながら手を振り続ける白老の人達に見送られ、幌へと向かいました。時計台、大通公園、旧道庁舎、札幌ビール園、道産市場と札幌市内観光をし、一時間程自由行動の時間を取りました。くもの子を散らすように子供達は四方八方へと走り出しました。集合時間には手にたくさんさんの買物包みを下げ、上気しながら戻ってきました。楽しかった、疲れたと口々に言いながら、満喫したようです。

仙台に戻ってから白老スポーツ少年団事務局の小塚勉氏よりお手紙を頂きました。



仙台市スポーツ少年団を迎えて

前日まで降り続いた雨も上がり、七月二十八日仙台市スポーツ少年団が無事白老に到着しました。今年で第十四回目となる交流事業です。受け入れ準備委員会も数度開催し、関係者一同白老で出来る限り歓迎しようと張り切っていました。仙台市スポーツ少年団で、交流事業に初めて参加する団員もいましたが、白老の団員とすぐ仲良くなり安心をしました。また、二日目のスポーツ交流も楽しく過ごし、事故も無く無事全日程を終了出来ましたこと、感謝申し上げます。最終日に見送りに来た団員、父母、指導者の目にあつい物がこみ上げていたような感じがしました。短い三日間でしたが仲良しになった友情は深いものだと考えました。このような交流と友情をいつまでも続けたいと思います。来年は白老がおじゃまする年です。よろしくお願いいたします。



本当にお世話になりました。来年はお待ち致しております。

仙台市スポーツ少年団副本部長 常盤 節

スポーツセミナー

まとめ 熊谷 秀子

平成十二年七月二十二日仙台も昨日梅雨明けした晴れた日に、仙台駅北口シルバースタターに於て、参加者七十名の指導者、育成母集団の方々が集まり講師に北海道大学医療技術短期大学部助教授の田辺実氏を迎え「スポーツ活動における熱中症予防について」約一時間の講演を熱弁して頂きました。昨年に続き熱中症予防第二弾と言う事で、この所毎日と言う程ラジオ等で熱中症予防がとりあげられているのを聞くにつけ、スポーツ活動して行く上で、とても大切な事であるとあらためて実感し、子供達を指導する上で事故の無い様に安全に対する配慮が重要視されています。日本協が発表した「熱中症予防8ヶ条」環境条件に応じた運動のやり方を「熱中症予防の為の運動指針」としてあげられている事を中心に、暑い時期を水分補給を上手にしながら熱中症の危険が無い様にしていかなければならない。熱中症を理解し「無知と無理でおこる熱中症をなくそう」を、もっと育成母集団を通じて父母一人一人理解をし、スポーツが好きで楽しんでいく子供達の環境を守ってあげなければと感じました。

Q & Aとして、Q 水分補給はどの位与えれば良いのか？ A 個人差があるので要求するだけ与えて良い。Q 昔はあまり冷たい物は良くないと言われていたが何度位の飲み物が良いのか？ A 5℃位のもの、しかし個人差であつてお茶が良いと言う人も中にはいるのでそれも良い。Q 熱射病になった場合水をかけるのは良いのか？ A 仰ぎながら霧にして吹いてあげるが良い。以上のことを覚えておいて頂ければと思います。

奉仕活動の感想

大野田サッカースポーツ少年団

六年 五十嵐 拓也

大野田スポーツ少年団は一年から六年、合わせて四十二人のサッカースポーツ少年団です。

僕は、サッカーだけでなく地域の活動として「あやめの里、沢川周辺」のゴミ清掃などもしています。

前回は仙台市体育館の周辺を清掃しましたが、今回はゴミの多い、富沢駅周辺を清掃することになり、二班に分かれて清掃しました。

駅周辺は人通りも多いためかゴミが沢山落ちています。特に多いのはタバコの吸い殻でした。他にもジュースの空き缶やペットボトル、御菓子の袋などが落ちていました。

何気なく捨ててしまうことがあるのかもしれないと思いますが、ゴミはちゃんと始末しなければいけないと思います。

チームメイトみんな協力しあい、きれいにすることが出来て、本当に良かったと思います。

このように僕達大野田サッカースポーツ少年団は日々の練習や試合以外にも先輩達が十数年間続けてきた奉仕活動を通じて大野田の街をきれいにするために、これからも頑張りたいと思います。



山形蔵王スキー場

一班

石母田 真

一月六日の日は、菖蒲沼ゲレンデとバラダイスゲレンデと樹氷原コースに行きました。

樹氷原コースに行くリフトではモンスターがいっぱいあってとてもキレイでした。菖蒲沼ゲレンデではストックを使わないで滑る練習をしたりこしに手をあてて滑る練習をしました。練習の途中には、あたたかいココアを先生が買ってくれました。

次の日は、一班と二班でスタンプラリーをしに行きました。午前中は三ヶ所のゲレンデのスタンプレをしておしまりました。午後二班といっしょにスタンプラリーのつづきをやりました。午後は、九ヶ所の内四ヶ所のゲレンデをまわりました。途中すべるときに先生が飲み物のほかにあったかいタコヤキを買ってくれました。おいしかったです。

一月八日の日は、最後の日でした。ぼくは「もう最後の日かぁー、早いなぁー」と思いながら、朝をむかえました。

今日、スタンプラリーの続きをする予定だったんだけど、すごいふぶきで、ゲレンデを三つぐらいしか回りませんでした。すべっている時雪がスキーにのって、おもたくて、自由に動かせませんでした。そして後々、スキーで下までおりることになっていった。さっきまでふぶいているんじゃないかなーと思ったけど、ふぶきはおさまっていた。下まで滑る時全班いっしょにすべりました。

すべっている途中、三班の三上君は、最初、ぜんぜんすべれなかったんだけど、じょうずにすべっていた。もちろんみんなも。そしてすべり終わった後きがえてバスにのりました。楽しかったです。



スキー教室で

学んだこと

二班

斉藤 みどり

私は、このスキー教室に参加して、とてもたくさんのお話を学びました。その中でも、とくに印象に残っているものが二つあります。

一つは、自然のすばらしさです。上の方に行くといえるモンスター。これは自然が作ったものです。二月には、ライトアップされるというので、ぜひ見に行きたいです。

そして、私たちがすべったこの雪も、自然が作った？ ものです。最初の二日間、とてもいい天気だったので、とても気持ちよくすべれました。かたい雪、やわらかい雪、凍った雪など、たくさん雪があり楽しかったです。

二つ目は、友だちの大切さでした。事前研修のときは、少ししか話せなかったのですが、とても心配でした。だけど、バスの中で、たくさん話せて、とても仲良くなれました。それに、夜には、ひみつの話、明日のこと、今日の感想などの話で、とても、もり上がりました。

そしてスキーの練習中には、ころんだ子をはげましてあげたり、教え合ったりして、スキーの方も、じょうたつしました。やっぱり、スキーの上手さなどは、それぞれがいはいあったけど、みんな楽しそうに滑るので、良かったと思います。

帰りのバスの中では、本を読んだり、ビデオを見たりであまり話すことがなかったけど、男子と話したり、あまり仲良くなかった子と仲良くなれたりとても楽しかったです。

こんどは別の場所で、友達（みんな）と会えるといいなと、思っています。



冬山のつどいに

参加して

三班

青沼 優太

蔵王で、初めてのスキーをしました。初めてだったので最初はできるかきんちゃんうしたけど、だんだんやっているうちに、できるようになってきました。一日目は、きほん的なことから始めて、まがり方や止まり方などを学んで、少しずつすべれるようになっていきました。

二日目は、初めてリフトに乗り、上から下まで少しづつすべっていく、個人ですべったり、団体ですべったりして、楽しくすべれるようになりました。

一人でリフトに乗ったり、二人で乗ったり、会話をしながら滑るようになったけど、後を向いたり、下を向いたりすると恐くて、向けませんでした。

三日目は、最後の日のリフトにのり、団体で上から下まですべることが多くて、ときどき、個人ですべったりして最後は、ゴンドラ乗り場まで何十メートルもあり、先生が、「ここから、個人ですべりなさい。」と言いつつ、けっこうきよりがあったので恐かったけどまがりながらすべったら、落ちついてすべることができて、別の方向に行ったけどころばないですべれるようになって本当にうれしかったです。

午前に班ごとの実技をやって、午後には、一班、三班、二班という順番ですべりました。

この三日間のスキーは、いい体験になり、他の学校の子と友達になって、思い出としても残りました。

今度家族で行くことがあったらこの経験を生かして、今よりもっとうまくすべれるようになりたいと思います。弟もすべれるように教えてあげたいと思います。



❖ リーダー会を発足して ❖

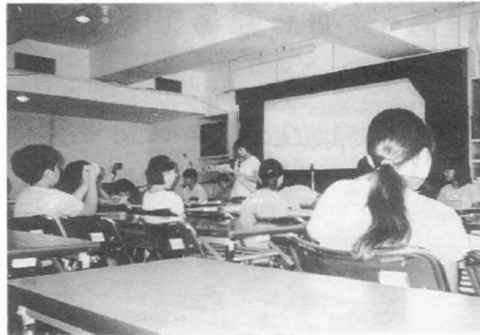
南光台東 内田 彩子

仙台市スポーツ少年団リーダー会は、多くの指導者の方々の御力添えのもとに昨年七月に発足し、活動しています。この記事で初めて「リーダー会って何？」と思われる方も多いと思います。リーダー会とは小学校を卒業後もスポーツ少年団に登録し、後輩である団員のお世話・指導を行っている中・高・大学生の集まりです。

リーダー達は仙台市ジュニアリーダーズスクールを修了後さらに上級の東北・全国地区のスクールへ参加したり、日独スポーツ少年大会に参加・渡独している人もいて、多くの場でリーダーのなすべき役割・重要性を学んでいる人ばかりです。

そんな私達ですが、今行っている活動の主なものは仙台市ジュニアリーダーズスクールの開催です。団員が集団の中のリーダーの役割を学ぶための、二泊三日のスクーリングです。ジュニアリーダーズスクールには日本スポーツ少年団が規定する内容があり、その内容に私達が工夫を加えたプログラムになっています。

今年度のジュニアリーダーズスクールは八月十八日～二十日、天候にもめぐまれ泉ヶ岳青年自然の家で



行われました。集まった団員は約五十人、みんな元気いっぱい。本当にこのスクールを楽しんでくれた様子でした。約束を守らない子、眠れない子、熱を出す子……。私達は大忙しの三日間でした。しかし青年の家を出る時、ひとまわりもふたまわりも大きくなったように感じられる団員の姿やバスの中からいつまでもリーダーに手を振ってくれている団員の姿を見ると、何もかもが吹き飛んでしまいます。いつも、私達はこの瞬間のために頑張ってきたんだな、と満足感でいっぱいになるのです。

ジュニアリーダーズスクールを通しての反省、学べき点は数多くあり、今後のために活かしていかなければなりません。私達はいつも、もっと楽しく団員のためになるスクールを目指しているのです。そして、リーダー会はこのからの活動をもっと

広げたいと思っています。一つは北海道白老町に発足予定のリーダー会をはじめ、他のリーダー会との交流をしながら自分達の知識を深めること、二つめはもっとジュニアリーダーズスクールやリーダー会について知ってもらい、参加してもらえるように広報活動することです。

特に広報活動ははじめにも挙げたように、仙台市のジュニアリーダーズスクールやリーダー会について知っているのはほんの一部の団達と思われま

こしても多く団員にリーダーの役割や大切さを学んでもらって、私達と一緒にリーダーとして活動してほしいので積極的に行っていきたいです。まだまだ未熟で頼りない私達ではありますが、多くの方々にご協力を頂きながら精一杯活動していきたいと思います。これからも御指導よろしく願います。

❖ 奉仕活動 ❖

館レインボースターズ 首藤 領

ぼくは、四月九日に初めて盲導犬の募金活動に参加しました。初めのうちは寒いのはずかしいので声がでませんでした。だけどみんなが一生懸命声をだしているのを見てはすかしくなくなりました。でもなかなかお金は入りませんでした。最初に入ったのは五十円玉で、入った時の音はすごうれい音でした。それからはいっぱいお金が入りました。うでがいたくなったりもしたけどお金が入るたびうれしくなってきた。声もどんどん大きくなり、募金箱も重くなりました。終えた後、満足感で力が抜けました。



※アフリカ・マリ共和国への救援米作り※

つばめ沢スポーツ少年団 常盤 節

全農林仙台食糧事務所より協力要請を頂いて救援米支援活動を始めて早五年、初めは一般の市民へも仙台市の広報紙で募集して何家族か参加頂いたのを記憶しております。が……、

年々一般参加者が少なくなり、今ではつばめ沢スポーツ少年団と、当団と交流のある新田スポーツ少年団の二チームで協力しております。県内では、仙台市（宮城野区）以外、五地区で行っているとのことです。

その年で多少の違いはありますが、五月始めの田植えから始まります。今年は燕沢東にある田んぼをお借りして、専従者の方より苗の植え方のコツ「カトちゃんペッ！」を教えて頂き、水を張ったどろんこの田んぼの中へ一列に整列し一斉に入り、線引きされた十字をめざして苗を「カトちゃんペッ！」と言いながら刺し入れていきます。中にはどろに足を取られ尻持ちをついたり、苗飛ばしをする時に上手に受けとれず顔にどろはねを付けたりと大騒ぎしながら植えていきます。



その後、夏迄は苗の成長記録観察を行い稲についての学習をします。夏休みに入ると案山子作りをします。

わらで作った案山子に古着を着せ、スズメやカラスを追い払うのですが、グループを作り個性的なメイクをして、中には、プツと吹き出したくなる案山子も出来上がります。

そして待ちに待った収穫を

十月始めに行います。たわわに穂を付けた稲を見ると子供達は早く稲刈りをしたいと騒ぎますが、まず食糧事務所の方より鎌の使い方を注意され、長ぐつ、手袋をつけ五〜六株を刈り取り一束にしています。わらで束ねるので子供達には刈り取りだけをして貰い、父兄や食糧事務所の人で束ねていきます。けっこう慣れないと手を切ったり束がくずれたりともずかしいものがあります。今年は雨上がり後すぐ行ったので天日干し迄は行えませんでした。前年迄は、太い心棒に横木を下の方へ一本付け、その上に束ねた稲を螺旋状に乗せていくのです。一ヶ月程も天日干しにすると美味しいお米の出来上がりです。

手間暇かけて作ったお米は子供達の真心と無事に届けという願いをこめて十二月末に勾当台公園に子供達と関係者の方々が集まり、マリ共和国へ出発式が行われます。昨年、マリ共和国の子供達の満面の笑顔の写真が送られて来ました。服のおさがり等も喜ばれています。日本でも何不自由なく暮らせる私達は本当に恵まれています。今後

も要請があれば毎年お手伝いしていきます。いと子供達とも話しております。小さな愛の力を集めて大きな愛を地球上の苦しむ人々へをモットーに！



※一生けんめいそだてたお米※

つばめ沢スポーツ少年団 キャプテン 橋本 恵里夏

私は二年生の時から、新田バレーボールチームといっしょにお米をそだててきました。一番最初は田植えをします。次にかかし作り、そして稲刈りです。私は田植えが一番好きです。なぜかというと、みんなす足でたんぼの中に入るので入った時の感じが、「ムニユ」として気持ちがいいので一番好きです。田植えをしているとちゅうで、あちらこちらから「キャー」とか「アッ」という声が聞こえるので見てみると、しりもちをついてどろだらけになってたり、顔にどろがとびはねてたり、とてもにぎやかで楽しいです。かかし作りもします。わらかたちをつくり顔の所に白いぬのをかけて、私たちの好きな絵を書いてかわいい顔がいたり、へんな顔がいたりします。あとは洋服をきせてたんぼに立てればできあがりです。稲刈りは、かまをつかって稲を刈るのでとてもきけんです。長ぐつの先にさして切ってしまったら、稲のちがう所を切ってしまったたり、なかなか先に進まず楽しみながら刈っています。お米が出来あがったら、勾当台公園でマリ共和国に送る出発式をします。私はお米の大切さを知りました。そしてマリ共和国の人に、私たちが一生けんめいそだてたおいしい米を大切に食べてほしいと思います。



南光台東・

小さな外交官交流を体験して

東小バスケットの会 蜂谷 裕子

昨年九月に、スポーツ文化交流事業としてオーストラリアのパス市から、先生二名、子供達十五名が来仙しました。今回で三回目となる交流は、元団員がパス市へ移住した縁をきっかけに、平成八年と十年にも来仙し、学区民運動会や学校訪問、バスケットの試合や、百円ショップでの買物など仙台の日常を一週間体験しています。

筒井監督を実行委員長として、団員、父兄はもちろんのこと、地域の皆様、OBとOBのご父兄、役員が母体となって、ホストファミリーや期間中のウェ

ルカム、さよならパーティーなどご協力をいただきました。

私達家族も、ホストファミリーとして、貴重な経験をすることができました。言葉や食事、生活習慣の違いもありましたが、身ぶり手ぶりをまじえて知っている限りの英語でカバーして、さほど時間がかからずに、うちとけ合うことができました。オーストラリアのお子さんは、自分の意志をしっかりと相手に伝えることができるので感心しました。家庭での躾と教育がしっかりなされているのではと思います。ホームシックも心配には及びませんでした。学校訪問では、校長先生をはじめ諸先生方のご理解、ご協力をいただき、生徒の皆さんと楽しい交流がありました。

お別れの時は、万感胸に詰るものがありました。娘も涙をこらえて見送りましたが、「また会いましょう。」の言葉通り、今春三月オーストラリアへ初めての訪問が決まり、現在渡航の準備が進んでいます。今回の訪問で、感受性豊かなこの時期に、貴重な体験を肌で感じとって来てほしいと思います。

ここにいたるまでには、東小バスケットの二十数年にわたる伝統と団にかかわってこられた皆様あってこそ実現できたのではないのでしょうか。今後もこの小さな外交官交流が続くことを願ってやみません。

※今春には南光台東よりオーストラリアに行きますとの連絡が広報部の方へ入っております。



平成十二年度 スポーツ少年団認定員養成講習会

去る平成十三年一月二十七日、二十八日の二日間
にわたり、延べ百五十八名の方が受講されました。
二日間共雪が降った為十六名の方が欠席となりま
したが、受講された方々に本当にご苦労さまでした。
講習会は開講式の後次の日程で行われました。

〔一日目〕

(13:00) スポーツ少年団育成の意義と原則
講師 菅原 寿
(13:40) 単位スポーツ少年団の運営
講師 筒井 久美子
(16:40) 人間の発達と少年期の特性
講師 郡山 孝幸

〔二日目〕

(9:20) 少年スポーツ指導
講師 大沼 良雄
(10:25) 安全の為の方策
講師 安中 俊作
昼 食
(11:35) ~ (12:25)
講師 横山 定夫
(12:30) 体力テスト
講師 大沼 良介
(13:40) 研究協議
講師 大塚 製菓
(15:00) 熱中症予防

全課程修了者には、スポーツ少年団認定員の認定
証が、平成十三年登録を確認ののち交付されます。

認定員資格有無 平成12年度登録時0チーム

- Ⓐ 桂サッカー 12年度無
- Ⓑ 八木山バスケット (12年度受講済)
- Ⓒ 住吉台レモンズ (12年度受講済)
- Ⓓ 大沢サッカークラブ (12年度受講済)
- Ⓔ 幸町柔道教室 (12年度受講済)
- Ⓕ アバンチュール仙台SC (12年度受講済)
- Ⓖ JKA仙台空手道 (12年度受講済)
- Ⓗ FCASK 11・12年度共無
- Ⓘ 北仙台ミニバスケット 12年度無
- Ⓢ なかのFC (12年度受講済)

平成12年度 仙台市スポーツ少年団登録状況

	12 年	11 年
団 数	272	274
団 員 数	7,047	4,451
指 導 者 数	1,197	1,227
区 団 数	青 67	68
	宮 35	36
	若 34	34
	太 62	63
	泉 74	73

平成12年度新規団

- 燕沢クールヘッズ
- 桂サッカー

編集後記

平成十一年、十二年の二年間にわたり、七名の
広報部員で頑張って参りました。なかなか全員集
まれず大変苦勞致しましたが、何とか今年度は年
中に皆様へ発行することが出来ました。お読み頂
ければお解りと存じますが、スポーツ少年団とし
ての行事の他に、陰ながらいろいろボランティア
活動と交流をしているチームがございましたの
でピックアップしてみました。今後共頑張って頂
きたいと存じます。

平成十三、十四年度と役員改選で新たな広報部
員の方々になることと存じますが、未熟な私共と
違うこととご期待申し上げます。

ご協力頂き、本当にありがとうございます。

常盤 節 つばめ沢 (バレー)
木須 勇治 大野田 (サッカー)
庄子 正信 七郷 (サッカー)
大友 一史 泉 (卓球)
田原 龍子 館 (バスケ)
相澤 一夫 青葉 (空手道)
椎名 二男 宮城野 (バスケ)

